

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	過疎地等における医療格差を減らすための遠隔医療システムの構築			
2. 対象患者	対象期間に弘前大学医学部附属病院皮膚科もしくは青森市民病院皮膚科を受診し、皮疹の写真を記録した患者さん			
3. 対象となる期間	2016年 4月 1日 ~ 2019年10月1日			
4. 実施診療科等	皮膚科			
5. 研究責任者	氏名	六戸大樹	所属	皮膚科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	青森市民病院皮膚科(神可代)			
7. 研究の意義	青森県が抱える課題として、地理的問題等から生じる都市部と過疎地・へき地間における医療格差が挙げられます。よって、以下の目的について、課題の解決の糸口を探るものです。			
8. 研究の目的	将来、都市部の専門医と過疎地・へき地の地域医療を担う医師を結ぶ医療ITネットワークを活用した「遠隔医療システム」を構築するためのテストを行うこと。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	使用する情報: 過去に当科もしくは青森市民病院皮膚科を受診し、皮疹の写真データを記録した症例10例程度です。写真データは皮疹部の拡大写真あるいは病理組織画像のみであり、顔面などの個人情報特定できる部位の写真は含まれません。本研究では、匿名化された写真データをセキュリティ機能を有するサーバーに保管し、青森市民病院と当科とでデータを共有しつつ、皮疹の診断や治療方針に関する議論などの遠隔医療のシミュレーションをするものです。いずれの症例も、それぞれの皮疹に応じた診療がすでに行われているため、本研究によって患者さんへの影響は生じません。			
10. 個人情報の保護	写真データは個人が特定できないよう、皮疹部分だけの拡大写真を使用します。対象者の情報は個人が特定できないように匿名化されます。また、皮膚写真データはパスワードで保護されたセキュリティ機能を有するサーバーに保管され、特定のセキュリティ付コンピュータからのみアクセスできるように管理します。学会および医学雑誌への発表に際しては、疾患名、所見写真等、試験結果の考察のために必要な情報を用いることはありますが、個人を特定できる情報は完全に秘匿されます。参加されない場合はその意志を尊重します。			
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院皮膚科 六戸大樹			
	電話	0172-39-5087	FAX	0172-37-6060